

平成27年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

項目	内容
開催日時	平成27年6月26日(金) 午前10時00分～午後0時00分
開催場所	久留米市役所 2階 くるみホール
委員等の出欠状況	委員(27名)出席26名<内代理7名>、欠席1名 臨時委員(2名)出席 2名 オブザーバー委員(1名)出席 1名
議事概要	<p>1 開 会</p> <p>2 会長挨拶(深井副市長) 〔事務局より〕</p> <p>(1) 新たな委員、臨時委員、オブザーバー委員の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西鉄バス久留米株式会社 取締役営業本部長 亀崎 元治 ・国土交通省九州運輸局福岡運輸支局 支局長 西 正博 (代理 首席運輸企画専門館 原 数政) ・国土交通省福岡国道事務所 計画課長 森 賢二 ・久留米市身体障害者福祉協会 事務局長 酒井 良実 ・(臨時委員) 城島地域生活交通検討会 座長 田本 栄之 ・(臨時委員) 北野地域生活交通検討会 委員 中島 京子 ・(オブザーバー委員) 国土交通省九州運輸局 交通企画課長 前川 翔 <p>(2) 委員、臨時委員29名中26名の出席を持って、設置要綱第10条第2項に基づき会議成立を報告</p> <p>(3) 傍聴希望がなかったことを報告</p> <p>3 議 事</p> <p>(1) <u>協議第2号 平成26年度久留米市地域公共交通会議決算について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度の久留米市地域公共交通会議の決算について諮るもの。 ・歳入は負担金と補助金。補助金(国庫補助)については、会議開催費用を久留米市で負担することにしたため、当初予算に比べて減額して国へ完了実績報告を行い、補助金交付を受けた。負担金は、久留米市からの負担金で業務委託の振込手

項目	内容
議事概要	<p>数料である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳出の基本的なものは、形成計画と再編実施計画の策定費用としてコンサルタント会社に委託した額である。 ・平成27年6月11日に地域公共交通会議監事の久留米市校区まちづくり連絡協議会長 吉田輝彰氏と久留米商工会議所中小企業相談所地域振興課長 古家美恵子氏に会計監査を実施していただき、適切な執行を確認いただいた。 <p>[主な質疑応答]</p> <p>(委員) 歳出に関して、コンサルタントに委託料として支払ったとのことだが内容の詳細についての報告はないのか。</p> <p>(事務局) 内容の詳細については資料には添付していないが、委託した成果の一つである久留米市地域公共交通網形成計画については参考資料1を確認してもらいたい。また、業務委託報告書は事務局で管理しているので、閲覧等は可能である。</p> <p>●協議第2号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(2) <u>協議第3号 久留米市地域公共交通会議設置要綱の改定について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市地域公共交通会議設置要綱（以下「設置要綱」という。）の一部を改定する。 ・設置要綱の改定は、国庫補助要綱の改定に合わせて文言等の修正を行うもの。 ・併せて、設置要綱中に記載している久留米市地域公共交通会議財務要領に関する記載についても修正を行う（交通会議開催費用については久留米市の会計で処理する旨を記載）。 <p>[主な質疑応答]</p> <p>なし</p> <p>●協議第3号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(3) <u>協議第4号 平成27年度久留米市地域公共交通会議事業計画及び予算について</u> <u>報告第1号 平成27年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通再編推進事業（再編計画策定事業））の交付決定について</u></p>

項目	内容
議事概要	<p>1) 今年度の事業計画</p> <p>①市街地フリー乗車券等の導入の検討 久留米市の中心拠点周辺をある程度のエリアを区切ってフリーエリアとして設定し、そのエリア内を一日に何度も乗り降りができるフリー乗車券の導入を検討する。</p> <p>②企画乗車券等の新設（バスパック事業） 現在路線バスを利用している人に加え、新たにバス利用者を獲得するため、対象エリア内の施設利用料の割引等とバス往復乗車料金をセットにした企画乗車券（バスパック）を新設する</p> <p>③公共交通に関する分かりやすい情報提供の実施（公共交通マップ） 久留米広域定住自立圏（4市2町）公共交通マップの平成28年度版の策定を行い、広く配布を行うもの。現在は27年度版があり、窓口への配架、転入者への配布を実施する。</p> <p>④久留米市地域公共交通再編実施計画策定 平成26年度に交通会議で久留米市地域公共交通再編実施計画（以下「再編実施計画」という。）素案を策定したが、事業者と継続協議している項目（事業）もあり、今年度も引き続き検討を進め計画の見直しを行っていきたい。 再編実施計画の策定については、現況把握や社会実験等の調査が必要となるため、国庫補助を活用したいと考えている。</p> <p>2) 予算</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入の負担金は久留米市からの負担金（296万円）。 ・296万円の内訳は上記事業①～③の合計に事務費1万円を加えた額である。 ・補助金は国庫補助であり、再編実施計画策定にかかる費用と同額を国からの補助として受け取っている（報告第1号）。 <p>〔主な質疑応答〕</p> <p>（委員）公共交通マップに関して、在庫があるとのことであるが、更に増刷することに疑問を感じた。現況のマップは大きすぎて持ち運びに不便なのでもっと工夫がいるのではないか。 また、実施計画の中に事業者との協議と記載があるが、もう少し市民の声を聞くなどして協議をした方がいいのではないか。</p> <p>（事務局）公共交通マップに関して、平成27年度版は4月に完成したばかりなので在庫がある状態である。</p>

項目	内容
議事概要	<p>マップは、中央に折れ線が入っているので、折ってもらえばコンパクトになる。より分かりやすい資料となるよう、今後も意見をいただき、使いやすいものを作成していきたい。</p> <p>また、再編実施計画は具体的な路線の再編に係ることであるため、実際に路線の変更を行う交通事業者の同意を得ながら計画を策定する必要がある。このため事業者との協議が重要となる。ただし、再編にあたり市民の意見を聞くことも非常に重要であるため、アンケートや移動需要の調査等を行いながら、市民の意見を取り入れた計画を策定していきたい。</p> <p>(委員) 公共交通マップの配布場所を教えてください。 また、自転車との連携も検討する予定があるのか。 高齢者の自動車から公共交通への転換について何か検討しているのか教えてください。</p> <p>(事務局) 久留米市内の総合支所等の窓口に置いている。さらに、毎年久留米市には年間約8,000人の転入者がいるため、それらの人々に一括して渡す配布物にマップを加えてもらうよう現在市民文化部と協議中である。自転車との連携については形成計画にあるようにサイクルアンドバスライドができないかということで検討していきたいと考えている。また、形成計画P.79に記載のあるとおり、高齢者の公共交通利用に対する支援として運転免許証返納者に対して公共交通運賃の割引を行うなどの検討を進めていきたい。</p> <p>(委員) タクシーについての協議はしないのか。今後、超高齢社会を迎え福祉タクシーなども重要になってくると思う。福祉関係は福祉部門との協議になると思うが、交通会議に市の福祉部局担当者に参加してもらうことはしないのか。</p> <p>(事務局) 今後、福祉部門との連携も必要となってくると考えられるため、必要に応じて福祉部局の担当者の参加を検討していきたい。</p> <p>(委員) タクシー業界との連携等についての協議はしないのか。</p> <p>(事務局) よりみちバスについてはタクシー会社に運行委託をする予定にしている。</p> <p>(委員) タクシーそのものの位置づけはどうなっているのか。</p> <p>(会長) 今年は再編実施計画についても深い議論をしたいと考えているので、タクシーの位置づけに関しても考えていけ</p>

項目	内容
議事概要	<p>ればと思っている。</p> <p>(委員) フリー乗車券とバスパック事業の実施時期を教えてください。</p> <p>(事務局) 交通事業者と協議をして今年度中にできるように検討している。</p> <p>(委員) フリー乗車券のターゲットは誰か。既存の公共交通利用者がターゲットであれば減収になると思うがその分の費用負担はどのようになるのか。また、社会実験の際の周知等の方法や費用は考えているのか。</p> <p>(事務局) フリー乗車券は、既存の利用者だけでなく来街者（シティプラザのオープンに伴い久留米への来訪者も増加すると考えている）をターゲットにしている。フリー乗車券の予算はチケットの作成費や周知のための費用で損失補填等は考えていない。料金については事業者の方で適正な金額を設定してもらいたいと考えている。また、現予算案の社会実験の事業費は運行委託費のみの費用となっている。利用者への周知は非常に重要であるので、事業計画を立案するなかで検討していきたい。</p> <p>(委員) フリー乗車券の年齢制限はあるのか</p> <p>(事務局) 年齢制限はない。</p> <p>●協議第4号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(4) <u>協議第5号 平成28年度久留米市生活交通確保維持計画（久留米市地域内フィーダー系統確保維持計画）の策定について報告第3号 「よりみちバス」の検討状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域内フィーダー系統確保維持事業は、よりみちバス運行に関する国庫補助で、運行開始後、国庫補助が受けられるよう予め申請を行う。ただし、現時点では事業計画が決定していないため、事業計画決定後に申請内容は修正申請する。 ・よりみちバスの導入については、地域の検討会で協議を行い、需要の把握からバス停の位置、ルート、ダイヤの検討を進めている。これまでに城島地域では5回、北野地域では7回検討会を行っている。 ・城島地域はバス停の概ねの位置が決まった段階。北野地域については、バス停を置く土地の所有者からの許可も概ね取れている。 ・北野地域は隔日運行を基本と考えており、地域からの要望で

項目	内容
	<p>お出かけして目的地に着いた後、1時間程度で帰りの便が来るように系統、ダイヤの検討を進めている。</p> <p>〔主な質疑応答〕</p> <p>(委員) 西鉄との連携も考えているのか(時間等)。</p> <p>(事務局) 車両が2台しかないので電車との時間を合わせることは難しいがなるべく合わせられるよう鉄道との連携も図っている。</p> <p>(委員) 善導寺のスーパーというのはサニーか。また、停留所はどこに置こうと考えているか。</p> <p>(事務局) スーパーというのはサニーのことである。停留所は敷地の中に置かせてもらう。</p> <p>(副会長) よりみちバスの時刻表について。よりみちバス停に行くが遅れるのでは。</p> <p>(事務局) よりみちバス停に寄ると数分は遅れるが、そもそも、よりみちバス停は利用があまりないと予想される箇所であり、さらにダイヤは余裕を持たせて組んでいるので大幅な遅れは生じないものと考えている。</p> <p>(副会長) よりみちバス停に行った際は定時性が損なわれることになるがどう考えているか。</p> <p>(事務局) 通常ルートに関して、利用が少なければよりみちバス停に変更することもあり得る。運行しながら修正ができるものと考えている。</p> <p>(会長) 北野地域と城島地域から委員として来てもらっているが、何か意見があれば述べてほしい。</p> <p>(委員) なるべく運行回数が増えて利便性が高まればと考えている。北野と同じく隔日運行等を考えていきたい。</p> <p>(委員) 北野地域はスーパーが撤退してしまった。一日でも早く運行が開始になるよう取り組んでいる。</p> <p>●協議第5号は協議の結果、議案通り承認する。</p> <p>(5) <u>報告第2号 平成27年度久留米市生活交通確保維持改善計画(地域公共交通バリア解消促進業)の策定について(協議第1号)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助(地域公共交通バリア解消促進業)活用のために必要な計画(生活交通確保維持改善計画)の策定について書面協議を行い、原案通り承認されたことを報告する。

項目	内容
	<p>(6) <u>報告第4号 久留米市地域公共交通網形成計画の策定状況について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在は形成計画の案ができている状況。策定は8月を予定としている。 ・フリー乗車券やバスパック事業、公共交通マップは久留米市が負担金として支出しているが、形成計画を策定すれば国庫補助が活用できるようになる（申請は秋頃の見込）。 ・交通会議で策定した素案と現在の久留米市案の変更点 <ol style="list-style-type: none"> ① 関連計画、関連分野との連携等に関する記載表現等の変更 ② 数値目標の目標値等の変更 ③ 目標を達成するために行う事業の記載方法を変更 <p>【主な質疑応答】</p> <p>(委員) 形成計画の中のタクシーの位置づけや役割についての記載はあるか。</p> <p>(事務局) 形成計画の50ページに各公共交通機関の特性と役割を記載している。路線バスや生活支援交通などは運行時間帯も限られており、深夜等の全ての移動需要を賄うことはできない。タクシーは24時間ドアツードアの輸送が可能であり、他の公共交通を利用できない人の移動を支える役割を担っている。</p> <p>4. その他</p> <p>(会長) 全体を通して質疑等あれば。→なし</p> <p>(会長) 形成計画については中身を見てもらい、7月半ばまでなら質問等いただいても対応できる。持ち帰ってもらい意見等あれば事務局までいただきたい。</p> <p>5. 閉会</p>

平成27年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
1	第1号	久留米市	副市長 深井 敦夫	◎	
2	第2号	西日本鉄道株式会社 自動車事業本部営業部	営業第二課長 中島 徹也	◎	
3	第2号	西鉄バス久留米株式会社	取締役営業本部長 亀崎 元治	◎	
4	第2号	堀川バス株式会社	代表取締役社長 丸山 健	○	統括部長 田中 智太郎
5	第2号	株式会社甘木観光バス	代表取締役社長 池野 栄次	○	路線事業部 岡 純孝
6	第3号	九州旅客鉄道株式会社 久留米鉄道事業部	部長 工藤 俊二	◎	
7	第3号	西日本鉄道株式会社鉄道事業本 部営業企画部	計画課長 川津 匡宏	○	計画課係長 田中 幸輔
8	第4号	一般社団法人福岡県バス協会	専務理事 阿部 功	◎	
9	第5号	福岡県筑後地区タクシー協会	会長 大靄 洋海	×	
10	第5号	久留米市タクシー協会	会長 中川 恵司	◎	
11	第6号	久留米市校区 まちづくり連絡協議会	会長 吉田 輝彰	◎	
12	第6号	久留米 男女共同参画推進ネットワーク	会長 吉岡 マサヨ	◎	
13	第6号	NPO法人 ル・バトー	理事 佐々木 久美子	◎	
14	第6号	NPO法人 高齢者快適生活づくり研究会	代表理事 吉永 美佐子	◎	
15	第6号	子育て支援団体 もーりえ	代表 田町 菜穂子	◎	
16	第7号	国土交通省 九州運輸局福岡運輸支局	支局長 西 正博	○	首席運輸企画専門官 原 数政
17	第8号	西鉄グループバス労働組合	福岡本部副執行委員長 笈島 健嗣	◎	
18	第9号	国土交通省福岡国道事務所	計画課長 森 賢二	◎	
19	第9号	福岡県県土整備部 久留米県土整備事務所	地域整備主幹 牛島 善治	◎	
20	第9号	久留米市都市建設部	部長 上村 一明	◎	
21	第10号	久留米警察署	交通第一課長 大森 隆生	○	交通第一係長 古川 誠一
22	第10号	うきは警察署	交通課長 大山 洋一	×	
23	第11号	福岡大学工学部	教授 辰巳 浩	◎	
24	第11号	大分大学経済学部	准教授 大井 尚司	◎	
25	第12号	福岡県企画・地域振興部 交通政策課	係長 後藤 昭一	○	交通政策課主査 肥後 孝
26	第12号	久留米商工会議所 中小企業相談所地域振興課	課長 古家 美恵子	×	

平成27年度 第2回久留米市地域公共交通会議 議事録

委員、臨時委員、オブザーバー委員出欠名簿

No.	委員区分 第4条	所 属	委 員 名	出欠	代 理 者
27	第12号	久留米市身体障害者福祉協会	事務局長 酒井 良実	◎	
28	臨時	城島地域生活交通検討会	座長 田本 栄之	◎	
29	臨時	北野地域生活交通検討会	委員 中島 京子	◎	
—	オブザーバー	国土交通省九州運輸局企画観光部交通企画課	課長 前川 翔	◎	

【◎出席、○代理、×欠席】